
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第51号（通巻第118号）

2006年7月21日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

平成18年度夏季研修についてのご案内

1 期間採用者等研修

日時：第2回 平成18年8月4日（金） [第3回 平成18年12月2日（土）]
時間はいずれも 9:30～15:30（一部17:30）
場所：山梨大学 教育人間科学部 J号館5階 A会議室他
対象：期間採用者や非常勤等臨時的任用教員・学生

2 特別支援教育基礎研修

日時：平成18年8月18日（金） 9:30～12:00
場所：山梨大学教育人間科学部 M号館M-12教室
対象：一般市民・教員・学生
講演：「発達障害児を認知神経科学的に理解するために」
山梨大学医学部小児科講師・医師 相原 正男氏

3 若手教員研修

日時：平成18年8月18日（金） 13:00～17:30
場所：山梨大学教育人間科学部 J号館5階多目的教室 他
対象：教員（採用5年未満程度）・学生・テーマに関心のある先生方
講演：「親への対応に悩む教師」～保護者になりきれない親～
講師 永井 達彦氏
（山梨大学教育人間科学部研究協力者・前本センター客員教授）
分科会（グループディスカッション）：校種別

（付 記）

費用：研修は無料です。

申し込み：電話、FAX、メール、Webで申し込むことができます。
当日まで申し込みを受け付けております。

山梨大学教育人間科学部 附属教育実践総合センター	
電話番号	055-220-8325
FAX番号	055-220-8790
メール	jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
Web	http://www.cer.yamanashi.ac.jp/

* **駐車場**：ご利用の場合は、申し込みの際にお申し出下さい（台数に限度がありますので、なるべく公共交通機関を利用する、乗り合わせる等ご協力をお願いいたします。）

第7回・第8回教育実践研究会のご報告

実践センターでは、教育実践に関する研究上の情報交換の場として教育実践研究会を開催しています。今月は、2006年7月3日（月）と7月10日（月）に、山梨大学教育心理学研究会と共催で「昭和40年代の巨摩中教育」をテーマに、教育人間科学部 L423 教室において研究会を開きました。第7回には巨摩中学校の教員をされていた埴原美枝子氏から、第8回には巨摩中学校の生徒であった米山委月氏（現 帝京医療福祉専門学校介護科専任教員）から話題提供をしていただきました。2回の研究会でのべ26名が参加し、当時の生徒たちの合唱のCDや、山梨放送の番組VTRの視聴もしながら、活発な意見交換が行われました。参加者一人一人が、学校教育について思索するきっかけになった会になったと思います。次回も平成18年度中に教育実践研究会を開く予定です。

情報教育研究部門担当山梨大学戦略的プロジェクトの進捗状況について

当センター情報教育研究部門では、平成17年度戦略的プロジェクト「高等学校新教科「情報」担当教員支援」の後継事業として、今年度「情報通信技術を活用した教育実践・カリキュラム開発支援」を推進しております。今年度は、対面の講習会、授業研究（事前検討会・研究授業・授業検討会）と、e-Learningとを併用した教員研修を、情報科教員を対象に実施し、効果的な実施方法のための実践的配慮事項を抽出します。来年度以降、その成果を活用し他の教科にも適用していく計画です。

去る6月15日（木）、情報科教員の教育研究組織である山梨県高等学校教育研究会情報科部会の第1回理事会・総会が、山梨県青少年センター リバース和戸館視聴覚室において開かれました。当センターの山下和之助教授と成田雅博助教授が、この会に出席し、戦略的プロジェクトについて説明しました。今年度の情報科部会では、山梨大学の戦略的プロジェクトに全面的に協力することが確認されました。今後、対面の講習会を2回開催し、そのフォローアップをe-Learningで行っていく計画です。なお、e-LearningシステムのWebCT利用に関しては、総合情報処理センター及びセンター員の吉川雅修先生に協力いただいております。

第1回地域貢献教育研究会のご報告

6月27日（火）、県総合教育センターにおいて、第1回地域貢献教育研究会を開催しました。この研究会は、山梨大学と山梨県の連携事業「『授業研究実践論』による県との連携」の核となるもので、附属教育実践総合センターと総合教育センターとが情報を交換しあい、その成果を山梨大学の学生に対しては、集中講義「授業研究実践論」の授業を通し、また、県内の先生方には、総合教育センターで実施する研修会を通して還元していこうというものです。今回は、第1回ということで、事業の概要や内容及び研究会の持ち方等について話し合いました。また、後半は「教師のライフステージにおける経年研修」プロジェクトについても意見交換しました。次回は、大学側からの情報及び研究の紹介ということで、国語教育講座の岩永正史教授に講演をしていただく予定です。

教育実践学研究（センター研究紀要）第12号の原稿募集について

教育実践学研究への投稿申し込みは8月18日（金）、原稿提出の締め切りは9月29日（金）までとなっています。＜申込者の氏名と所属＞、＜共著者の氏名と所属＞、＜論文題目＞を記したメールを jiissen@sazanka.ai3.yamanashi.ac.jp 宛に送信して下さい。原稿作成等についての詳細は当センターのホームページの「センター研究紀要投稿案内」で御覧下さい。多くの方の投稿をお待ちしています。

第2回教育臨床研究会のご報告と次回のお知らせ

7月19日(水)、平成18年度第2回教育臨床研究会「特別な教育的ニーズへの支援を考えるー山梨県の動向」を土肥満先生(山梨県教育委員会新しい学校づくり推進室特別支援教育担当指導主事)を講師に開催し、13名の参加がありました。山梨県における特別支援教育の動向をわかりやすく説明していただきながら、学習しました。次回は、9月20日(水)10時半より(於 J号館5F多目的教室)松野安美教諭(若草中学校教諭・本学研究生)を講師に「特別な教育的ニーズへの支援を考えるー歴史の指導」を取り上げます。ご関心のある方はどうぞ直接会場にお出かけください。

第3回「教育相談室連絡協議会」のご報告

第3回「教育相談連絡協議会」を7月18日(火)に開き、相談室の運営や利用状況、附属学校への支援について協議しました。協議会構成員は教育実践総合センター教員(鳥海)、学部教員(玉井邦夫先生〔障害児教育講座〕と酒井厚先生〔学校教育講座〕)、附属養護学校相談支援室担当教員(青木洋子教諭)の4名です。附属学校への相談も相談室で行うようにしており、これまでで40回程度の相談室利用がありました。県内学校へのリーフレット配布が終了し、最近附属養護学校にも学校を通して紹介された保護者からの相談があったそうです。次回は9月11日(月)を予定しています。「教育相談室」に関するご意見、ご希望等ありましたら、教育実践総合センターまでお寄せください。

附属4校園との平成18年度第2回共同研究会

実践教育運営委員会の下部組織である、附属4校園と教育人間科学部との共同研究会を7月18日に附属養護学校にて実施しました。今年度の研究会構成員は各附属学校主任と英語教育講座の古家助教授、教育実践総合センターの澤登、鳥海で、「大学と附属学校との連携のあり方」をテーマに、具体的な方法について論議を重ねております。現在連携にあたっての問題点の整理や連携を促進するための条件整備について検討しています。

「教師相談室」をどうぞご利用ください

教育相談室は8、9月も利用できますので、是非ご利用ください。鍵は教育実践総合センター事務室(J号館4F)にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記入をお願いします。報告書は恐れ入りますが、鳥海のレターケースにご提出ください。(なお、火・木・金曜日午後は教育実践総合センター及び附属養護学校相談支援室が優先的に使います。)